

授 業 目 名	基礎運動学		授 業 形 態	講義・演習
			配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	落合 慶之		単 位 数	2 単 位
			時 間 数	45 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動学は、主に解剖学、生理学、物理学を基盤とした運動に関する学問である。</li> <li>● その基礎となる生体力学、運動に関与する主な器管の知識から学び始め、各関節の運動について学んでいく。</li> <li>● 基礎運動学では、正常の運動を理解していくことを主なテーマとする。</li> </ul> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 理学療法の評価、治療に必要な運動に関する知識が説明できる。 (これらの知識は解剖学・生理学・物理学を基盤としたものである)</li> <li>● 国家試験に必要な運動学の知識について説明できる。</li> </ul>			
授 業 回 数	授 業 の 内 容			
第 1 回	運動学総論(講義)	第 12 回	肘関節・前腕の運動学	
第 2 回	骨運動学と関節運動学(講義)	第 13 回	手関節・手の運動学①(講義)	
第 3 回	関節の構造と機能(講義)	第 14 回	手関節・手の運動学②(演習)	
第 4 回	筋の構造と機能(講義)	第 15 回	股関節の運動学①(講義)	
第 5 回	神経系の構造と機能(講義)	第 16 回	股関節の運動学②(演習)	
第 6 回	生体力学の基礎①(講義)	第 17 回	膝関節の運動学①(講義)	
第 7 回	生体力学の基礎②(講義)	第 18 回	膝関節の運動学②(演習)	
第 8 回	生体力学の基礎③(講義)	第 19 回	足関節・足部の運動学①(講義)	
第 9 回	中間試験	第 20 回	足関節・足部の運動学②(演習)	
第 10 回	肩関節の運動学①(講義)	第 21 回	脊柱の運動学①(講義)	
第 11 回	肩関節の運動学②(演習)	第 22 回	脊柱の運動学②(講義)	
		第 23 回	脊柱の運動学③(演習)	
評 価 方 法	中間試験(32%)、期末試験(53%)、ポートフォリオ(15%)にて評価を行う。			
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版(医歯薬出版) 運動療法学 第2版(文光堂)</p> <p>〔参考図書〕 基礎運動学 第6版補訂(医歯薬出版) 身体運動学 関節の制御機構と筋機能(メジカルビュー社)</p>			
履 修 上 の 留 意 点	特になし			
メ ッ セ ー ジ	<p>授業開始時に提示する学習目標を意識し、聴講しましょう。</p> <p>資料に記載されていない情報は、メモを取りましょう。</p> <p>また、わからないことがあれば、先延ばしせず、その日のうちに解決しましょう。</p>			